

教職課程における情報の公表

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

教員養成の目標

- 知 社会生活に必要な教養と保育者としての確かな知識を身につける。
- 情 豊かな感性と愛の心を育てる。
- 意 自分を知り、自らの人生を選び取る意志の力を育てる。
- 体 健全な心と丈夫な体を育て、規則正しい生活習慣を身につける。
- 技 保育者としての実践的な技能を身につける。

女子の活躍できる社会の到来を願い、創立者はキリスト教の精神である「愛の教育」を主軸において、幼児教育者の養成を目的として昭和43年に短期大学を設立した。以来、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方の取得をめざしたカリキュラムを構築している。幼児に愛情を注ぎ、奉仕の精神で社会と関わり、専門的な指導や支援ができる人材を約半世紀にわたり育成し、社会でも家庭でも自分らしく生きられる女性を送り出している。

さらには、急速なグローバル化への対応が求められている日本の保育・幼児教育において、未来の“グローバル市民”を育む乳幼児教育者の養成にも力を入れるため、平成29年度に学科名を国際こども教育学科に改め、履修上の区分として学科内に「こども教育コース」「国際こども教育コース」を設置した。同時に専攻科「国際こども教育専攻」を新設することにより、多言語・多文化を理解し、多様性を受容・発展させられる国際感覚豊かな教員を養成する。

目標を達成するための計画

<学期別の計画>

1年前学期

- ・建学の精神に基づき、教育・保育についての理念と基礎理論を学ぶ。
- ・保育の本質および目的と保育者の役割について理解する。
- ・現代の教育に関わる基礎的事項についての知識・理解を得るとともに、その問題について、自分で考える力を身につける。

1年後学期

- ・教育・保育課程の意義と基礎理論、指導方法、技法編成の方法を理解する。
- ・教職に関する理解を深め、教職への志向と一体感の形成を図る。
- ・乳幼児の心身の健康や発達について理解し、応用できる。
- ・園の役割と職務の基本を体験的に理解している。

2年前学期

- ・社会生活に必要な教養と責任を持って教育・保育実践できる能力を身につける。
- ・こどもを理解する視点を養い、こどもの生活に則した保育を構想することができる。
- ・実習を通じて保育者としての使命や倫理観を養うとともに、乳幼児理解を深める。

- ・今後の課題や目標を明確にできる。

2年後学期

- ・こどもの育ちや学びの連続性（幼保小連携）を理解する。
- ・保育を主体的に考え、地域や社会に積極的に貢献できる。
- ・子どもの最善の利益を尊重し、常に愛情をもって他者に奉仕することができる。
- ・自己肯定感を持つのと合わせて、自分を客観的に見つめなおし、学び続ける姿勢を持つことができる。

<到達目標>

教育・保育の本質と目的に関する科目

教育や保育の理念、本質を理解していくとともに幼稚園教諭と保育士の役割と責務、専門性と制度的位置づけの理解を深める。保育・教育職について理解し、実践に必要な知識と技術を身につける。

対象科目：教育原理 保育者論 保育原理 社会福祉 教育職の研究 児童家庭福祉
社会的養護 相談援助

人間の理解に関する科目

こどもの理解および学習の課程と心身の発達、健康について学ぶ。

専攻科では保育者間での個々のこどもの共通理解を深める方法を学び、こどもの育ちを可視化する技術を修得する。

対象科目：子どもの保健Ⅰ 保育の心理学Ⅰ・Ⅱ 幼児理解 子どもの保健Ⅱ
子どもの食と栄養 家庭支援論

世界の教育・保育に関する科目

未来のグローバル市民を育成できる能力を有する国際感覚豊かな乳幼児教育者になるため、日本や世界の乳幼児教育に関する専門知識と方法を学ぶ。

対象科目：国際こども教育概論 比較乳幼児教育論 比較こども文化演習

表現技術・基礎技能に関する科目

こどもの「思い」を生かし、豊かな表現力を引き出すことへの理解を深める。こどもの表現を様々な視点でとらえ、表現力を豊かにする遊びを促す技能を身につける。

対象科目：幼児音楽 幼児造形 音楽の基礎 音楽（器楽） 音楽（声楽） 音楽表現 幼児体育 幼児教育と情報機器演習

言語に関する科目

教育・保育現場において日本語及び外国語（英語）での円滑なコミュニケーションができることを目指す。

対象科目：保育英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 国語 ことばの表現
言語教育と幼児教育

教育・保育の内容・方法に関する科目

こどもの遊びを通しての指導、働きかけの意味を学び、理解を深める。更にはこどもの発達段階に応じた指導計画を立案し実践する力を身につける。

対象科目：保育内容（健康） 保育内容（環境） 保育内容（言葉） 保育内容（人間関係）
保育内容（表現） 保育内容総論 乳児保育 障害児保育 保育・教育課程総論 社会的養護
内容 保育・教育方法技術論 生活科研究 保育相談支援

実習・実践・研究に関する科目

実際の教育・福祉現場にてこどもと接し、保育者としての実践力を高める。教育・保育現場の課題を解決するために主体的に行動し、地域に貢献できる力を養う。専攻科では課題を考察・探究する手法を学ぶ。

対象科目：保育指導Ⅰ（保） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅰ（施） 保育実習Ⅰ（施設） 教育実習指導 教育実習 保育・教職実践演習（幼） 保育実習指導ⅡまたはⅢ 保育実習ⅡまたはⅢ 海外フィールドワーク

教養に関する科目

建学の精神である「愛の教育」を基に、豊かな感性を養い、短大で学ぶことの意義を理解する。職場や地域社会、国際社会で多様な人々と関わるために必要な幅広い教養や基礎的なスキルを身につける。

対象科目：日本国憲法 キャリアデザインⅠ・Ⅱ 体育理論 体育実技 日本の文化とこころ ボランティア活動 生活と科学 国際理解 徳育倫理 児童文化 生活と科学

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

<教員の養成に係る組織>

短大企画本部	全学的な方針の策定、教学マネジメント体制の構築、教育課程の編成
カリキュラム委員会	カリキュラムの編成、運営及び改善
FD・SD委員会	教育方法の改善、教職員の資質能力の向上に関する活動の企画

・教員が有する学位・業績

（教員紹介：http://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us/teacher_introduction.html）

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

<教員の養成に係る授業科目>

幼稚園教諭二種免許状取得に必要な科目および単位

《幼稚園教諭二種免許状取得の条件》

学則第24条の卒業要件を満たし、次の単位を修得すること。

- ・免許法施行規則第66条の6に定める科目：8単位
- ・教科に関する科目：4単位
- ・教職に関する科目：27単位
- ・上記以外の必修科目：6単位
- ・選択科目：18単位以上
- 合計：63単位以上

幼稚園教諭二種免許状に関する科目一覧表

免許法施行規則に定める 科目区分等		幼児に必要な単位数						
		左記に対応する開設授業科目	担当教員	単位数				
科目区分	各科目に含める必要事項(領域)					必修	選択	
第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	松井 志菜子		2			
	体育	体育理論	清水 文子		1			
		体育実技	清水 文子		1			
	外国語コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ	長谷山 康一、Mary Jones		2			
	情報機器の操作	幼児教育と情報機器演習	柴田 啓一		2			
小計					8			
教科に関する科目	国語	国語	相澤 京子		2			
	音楽	幼児音楽	大見 由香		2			
		音楽(器楽)	宮本真理子			2		
	図画工作	幼児造形	本間 由佳		2			
	体育	幼児体育	二階堂 あき子		2			
生活	生活科研究	入江 和夫		2				
小計					4	8		
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割	教育職の研究	竹田 恵	2			
		・教員の職務内容(研修、勤務及び身分保障等を含む。)						
	教育の基礎理論に関する科目	・進路選択に資する各種の機会の提供等	教育原理	百瀬 和男		2		
		・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	保育の心理学Ⅰ	中村 麻衣子		2		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	保育の心理学Ⅱ	中村 麻衣子			1	
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	障害児保育	森下 匡子		2		
			(教育原理)	百瀬 和男				
		・教育課程の意義及び編成の方法	保育・教育課程総論	高島 扶貴		2		
			保育内容総論	福田 泰雅		1		
			保育内容(健康)	二階堂 あき子		1		
			保育内容(人間関係)	大久保 明子		1		
			保育内容(環境)	入江 和夫、元 鍾彬、入江三津子		1		
			保育内容(言葉)	相澤 京子		1		
			保育内容(表現)	二階堂 あき子		1		
			音楽表現	大見 由香		1		
造形コミュニケーション	本間 由佳			1				
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育・教育方法技術論		高島 扶貴		2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法	幼児理解	大久保 明子		2			
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	(幼児理解)	大久保 明子					
教育実習	教育実習指導	高島 扶貴		1				
	教育実習	高島 扶貴		4				
教職実践演習	保育・教職実践演習(幼)	森 真理、横溝一宏		2				
小計					27	3		
必修科目	上記以外の必修科目	社会福祉	横溝 一浩		2			
		生活と科学	入江 和夫		2			
		キャリアデザインⅠ、Ⅱ	百瀬志麻		2			
		小計					6	
選択科目	選択科目は上記、教科に関する科目の選択8単位、教職に関する科目の選択3単位、および以下の選択科目より合計18単位以上選択すること。	保育原理	森 真理			2		
		保育者論	竹田 恵			2		
		児童家庭福祉	小川 一幸			2		
		相談援助	柴田 啓一			1		
		社会的養護	横溝 一浩			2		
		社会的養護内容	岡本 眞幸			1		
		子どもの保健Ⅰ	高瀬 利恵			4		
		子どもの保健Ⅱ	高瀬 利恵			1		
		子どもの食と栄養	田中 芳子			2		
		家庭支援論	中山 真貴子			2		
		乳児保育	松本 佳子			2		
		保育相談支援	福田 泰雅			1		
		徳育倫理	百瀬 和男			2		
		ことばの表現	相澤 京子			2		
		日本の文化とこころ	田中 久美子、田辺 重子、光畑 直美			2		
		音楽の基礎	宮本真理子			2		
		ボランティア活動	宮本真理子、柴田 啓一、福地 昭輝			2		
		児童文化	相澤 京子			2		
		小計						18
		幼稚園教諭二種免許状取得の必要合計単位数					63	

<参考> 卒業選択科目の注意点:教育実習、教育実習指導、保育実習Ⅰ、Ⅱ・Ⅲ、保育実習指導Ⅰ、Ⅱ・Ⅲは卒業選択科目には含まれない。

- ・授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画
(シラバス：http://www.tsurukawatandai.ac.jp/about_us/syllabus.html)

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

区分	平成 27 年 3 月卒業	平成 28 年 3 月卒業	平成 29 年 3 月卒業
卒業生数	109	131	128
免許状取得者数	76	90	113

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
卒業生数	109	131	128
教員就職者数	17	8	8

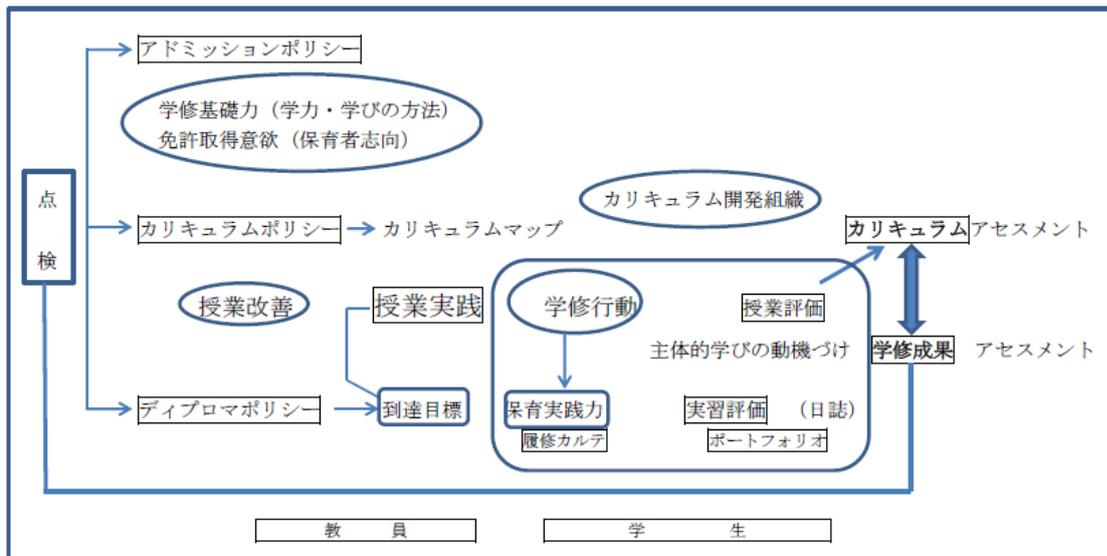
6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

本学では教員養成の質の向上のために、以下の取り組みを進めている。

- ① 学校教育法、短期大学設置基準等の関係法令を遵守し、教育の質を保証する PDCA サイクルに従い、教育目的に基づいて授業編成を行い、授業の成果を科目ごとに確認している。

<PDCA のサイクル>

- P**：建学の精神を基にしたアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを学内外に周知させ、開設科目において教育目標に沿った学習成果の到達目標をシラバスに明記する。
- D**：シラバスに則って授業を実施する。
- C**：学習成果到達度テストを実施し、学生個人の資質や特性を把握した上で学習状況を評価している。さらに「学修に関するアンケート」「授業評価アンケート」によって学生自身が達成できたことや今後の課題などを確認し、学習成果の自己認識を深められるように指導している。また「就職先アンケート」「卒業生アンケート」によって外部からの客観的な評価も得ている。
- A**：課題や問題解決策を FD・SD 委員会や学科会において検討し、次学期・次学年につなげている。



- ② シラバスの質の向上のため、シラバス作成ハンドブックを作成し、全専任教員によるシラバスの第三者チェックをおこなっている。
- ③ 定期的なFD・SD研修会の開催、専任教員と非常勤教員の情報交換の場となる講師連絡会、教職員による相互授業参観などを実施している。
- ④ 附属園である鶴川幼稚園との連携により、実習の前の事前研修、園の行事のボランティア、学生に企画によるお誕生会や自作の絵本の読み聞かせ会等を行っている。